

水子地域の指定文化財

1 水子貝塚【国指定史跡】

縄文時代前期中頃（約 6,000～5,500 年前）の集落跡です。集落内に貝塚が形成され、直径約 160m の環状に分布しています。



2 羽沢遺跡出土縄文土器【県指定有形文化財】

羽沢遺跡は市内を代表する縄文時代中期の集落跡です。昭和 59 年（1984）に第 40 号住居跡から完形に近い土器がまとめて出土し、11 点の土器が一括して指定されました。



3 道しるべ

天保 15 年（1843）に建立され、碑には「山下河岸三丁、ひき又十二丁、所さわ三里、川ごえ三里半」と刻まれています。



4 水子上組囃子

江戸神田囃子の流れをくみ、嘉永年間（1848～1853）に伝えられたといわれています。7 月 15 日に近い土曜・日曜の天王様の祭礼に奉納されます。



5 水子城の下組囃子

明治に志木市の高橋氏により伝授され、7 月 15 日に近い土曜・日曜の天王様の祭礼に奉納されます。江戸神田囃子の流れをくみます。



6 水子石井囃子

三芳町竹間沢の神楽師前田太夫から伝えられたといわれ、神楽面も残されています。7 月 15 日に近い土曜・日曜の天王様の祭礼に奉納されます。江戸神田囃子の流れをくみます。



7 中水子囃子

江戸神田囃子の流れをくみ、春と秋に獅子頭をおさめた御輿が家々を巡る平心講が中心となっています。



9 水宮神社般若院文書

江戸時代に摩訶山般若院として十玉院配下の本山派修験道の活動を行った水宮家に伝わる古文書です。十玉院との間で交わされた文書など市域の修験道の実態を記す貴重な史料です。
※個人保管のため公開していません。

8 北通遺跡第 8 号方形周溝墓出土遺物

北通遺跡は針ヶ谷に所在する弥生時代後期～古墳時代初頭の大集落です。遺跡の南東には墓域があり、第 8 号方形周溝墓からは鉄剣・ガラス玉・大型壺などの副葬品が出土しています。



10 林家文書

新河岸川の河岸場のひとつである山下河岸で茗荷屋として船問屋と営んだ林家に伝わる舟運に関する古文書です。
※個人保管のため公開していません。
一部資料は難波田城資料館で展示しています。

11 打越式土器

縄文時代早期末の土器型式で、市内の打越遺跡から出土した資料を標識として昭和 53 年（1978）に提唱され、その名称がついています。



	名称	所在地	指定日
1	水子貝塚【国指定史跡】	富士見市大字水子 2003 他	昭和 44 年（1969）9 月 9 日
2	羽沢遺跡出土縄文土器【県指定】	富士見市大字水子 2003-1 水子貝塚資料館内	平成 10 年（1998）3 月 17 日
8	北通遺跡第 8 号方形周溝墓出土遺物		平成 4 年（1992）2 月 17 日
11	打越式土器		平成 29 年（2017）2 月 23 日
3	道しるべ	富士見市大字水子 1891	昭和 52 年（1977）3 月 17 日
4	水子上組囃子	富士見市大字水子	平成元年（1989）1 月 10 日
5	水子城の下組囃子	富士見市大字水子	平成元年（1989）1 月 10 日
6	水子石井囃子	富士見市大字水子	平成元年（1989）1 月 10 日
7	中水子囃子	富士見市大字水子	平成元年（1989）1 月 10 日
9	水宮神社般若院文書	富士見市大字水子 1762	平成 13 年（2001）2 月 8 日
10	林家文書	富士見市大字水子 1851	平成 29 年（2017）2 月 23 日

